



2026年3月2日

各 位

会 社 名	GVA TECH 株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 山本 俊 (コード番号:298A東証グロース市場)
問 合 せ 先	取締役 CFO 板倉 侑輝 (TEL 03-6274-8260)

証拠解析から書面作成まで一連のプロセスを自動化する裁判特化AIシステム「AI書面作成」を正式リリース

～大量の証拠ファイルを一括解析、プロンプト不要で法律書面の自動生成を実現～

GVA TECH株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:山本 俊、以下GVA TECH)は、弁護士向けに、訴訟に関する各種書面の作成を生成AIで支援する新サービス「[AI書面作成](#)」を、リリースしました。

単に書面を作成するだけでなく、弁護士の思考プロセスを自動化する連続型のAI設計となっております。証拠解析から書面作成までの一連の工程を自動化することで、証拠の読解や整理に多くの時間を要している弁護士の業務効率化を、高い品質で支援します。

既に数十事務所の弁護士の方々に有償にてトライアル利用していただいております。本日機能を大幅にアップデートし、正式リリースいたします。

「AI書面作成」詳細:<https://gvatech-8563915.hs-sites.com/law-firm>

GVA TECH

証拠解析から書面作成まで一連の プロセスを自動化する AI書面作成を正式リリース



■「AI書面作成」の開発背景

国内では、企業や個人を問わず、社会課題の複雑化・高度化が進む中で弁護士への相談や依頼の需要は年々高まっております。一方で、弁護士数は増加しているものの、弁護士のリソースは慢性的に逼迫しており、案件を受けきれず、社会全体として十分な法的支援が行き届きにくい状況が課題となっています。

なかでも、弁護士業務の根幹の一つである訴訟対応では、膨大な証拠を読み解き事実関係の整理を行い、訴状や答弁書、準備書面などの書面を作成していく一連の書面作成のプロセスに多くの時間が割かれております。

GVA TECHは、AIを活用した様々なリーガルテックサービスを開発し、多くの企業や法律事務所に提供してきたこれまでの実績をもとに、生成AIの技術を活用して証拠解析から書面作成までのプロセスを自動化し、弁護士の生産性向上を支援するため、「AI書面作成」をリリースします。

■「AI書面作成」とは

事件類型や要件事実を踏まえて証拠等を解析し、訴状、答弁書、準備書面といった各種法律書面を自動で作成する、生成AIを活用した弁護士実務特化のシステムです。

事務所で利用しているストレージツールと自動同期された証拠ファイルやヒアリングメモ、類似の過去案件を選択し、ワンクリックするだけで、AIが瞬時に精緻な法律書面を生成します。

Step1. 証拠や過去案件のデータ解析

送信された情報を元にデータ解析した結果を右側に表示しています。右側で直接編集して修正またはプロンプト入力で再実行が可能です。

Step1 データ解析への指示 ※結果に対する追加指示はなくなり再実行されます。

AIで生成されたコンテンツは誤りを含む可能性があります

証拠解析結果

証拠1：LINEチャット画像（1枚目）

証拠の基本情報

- 証拠の種類：デジタル記録（LINEチャットのスクリーンショット）
- 内容の要約：「よしよし」という名前の相手とのLINEトーク画面。過去の会合への感謝、今後の京都旅行の提案、親密な会話が記録されている
- 作成者・送信者・取得経路：
 - 緑色の吹き出し（右側）：スクリーンショット撮影者（提出者側）
 - 白色の吹き出し（左側）：「ゆんさん」（プロフィール画像あり）
- 相手の表示名：「よしよし」
- 日付・場所・時系列：
 - 撮影時刻：20:57（画面上部）
 - メッセージ送受信時刻：20:17～20:24
 - 具体的な日付の記載なし（「先週」「朝」「今夜」などの相対的時間表現のみ）

デジタル記録としての詳細分析

改ざんの可能性

- スクリーンショットは連続した会話の一部を切り取ったもの
- 画面上部に「3」という数字があり、複数のトーク画面の一部である可能性
- 「既読」表示が複数箇所に確認でき、LINEの通常の表示形式と一致
- 時刻表示が自然な流れ（20:17→20:19→20:20→20:21→20:22→20:23→20:24）
- 不自然な切り抜きや編集の明確な痕跡は視認できない

専門処理を実施

Step2. AI解析による専門処理

送信された情報を元にデータ解析した結果を右側に表示しています。右側で直接編集して修正またはプロンプト入力で再実行が可能です。

Step2 専門処理への指示 ※結果に対する追加指示はなくなり再実行されます。

AIで生成されたコンテンツは誤りを含む可能性があります

主要な争点

- 不貞行為の有無：被告と「よしよし」との間に性交渉があったか
- 婚姻関係破綻の時期：不貞行為時点で婚姻関係は既に破綻していたか（先行破綻）
- 原告の宥宥性：原告の暴力的行動が婚姻関係悪化の原因か（過失相殺）
- 精神的損害の程度：適応障害診断と被告の行為との因果関係

②時系列表

日時	出来事の内容	証拠	主張立証構造上の位置付け
R6.2.1(木)	原告・康ひろこと被告・康潤娘が婚姻	相談メモ	Kg1（婚姻の届出）の直後事実
R6.2(木)～R7年初頭	夫婦円満な時期	相談メモ	N2（先行破綻）への反証事実
R7年初頭～	夫婦関係がぎくしゃくし始める。被告の帰宅時間が遅くなり、外泊が増加（週の半分程度）	相談メモ	Kg2（婚姻を継続し難い重大な事由）の関連事実／N2（先行破綻）の積極事実
R7年初頭～	夫婦間でケンカが増加。お互いに暴力的になることもあった	相談メモ、反訳書	Kg2の関連事実／N4（過失相殺）の積極事実
日時不明	夫婦間の暴力が警察沙汰になったことがある	相談メモ	Kg2の関連事実／N4の積極事実
日時不明	被告の腕に傷が残る（ケンカによるもの）	相談メモ、反訳書	N4の積極事実

ドキュメントを作成

Step3. 書面自動作成

送信された情報を元にデータ解析した結果を右側に表示しています。右側で直接編集して修正またはプロンプト入力で再実行が可能です。

Step3 ドキュメント作成への指示 ※結果に対する追加指示はなくなり再実行されます。

AIで生成されたコンテンツは誤りを含む可能性があります

証拠説明書

令和7年●月●日
東京地方裁判所民事部 御中
原告訴訟代理人弁護士 鈴木地井場 御中

事件の表示

令和●年(7)第●●●●●号 慰謝料請求事件
原告 康ひろこ
被告 康潤娘

証拠説明書

号証	標目(原本・写しの別)	作成年月日	作成者	立証趣旨	備考
甲第1号証	LINEチャット画像(写し)	令和7年6月29日以前	被告、不貞相手	被告と不貞相手が親密な関係にあったこと、継続的に接触していたこと、深夜まで一緒に過ごしたこと、「車のやつ」(キスマーク)に関する会話があったこと、京都旅行を計画したこと	原告が令和7年9月17日夜に被告の携帯電話から撮影
甲第2号証	LINEチャット画像(写し)	令和7年6月29日以前	被告、不貞相手	被告と不貞相手が令和7年6月29日に京都旅行を計画したこと、不貞相手が被告の既婚者であることを認識していたこと、被告が原告を欺くために「出張」と偽る計画であったこと	原告が令和7年9月17日夜に被告の携帯電話から撮影
甲第3号証	ホテル前での男女の写真(写し)	日時不詳(夕暮れ時)	不明	被告と不貞相手がホテル「HOTEL PRIME」の前で手をつないで歩いていたこと、親密な関係にあったこと	原告が第三者に依頼して撮影

• **特長1:** 複雑なプロンプト設計は一切不要

法律書面作成に必要な要件事実や証拠構造、解析の手法はあらかじめシステムにプロンプトとして内蔵されています。煩雑な設定や指示は不要で、事件タイプを選択しクリックするだけで、要件事実ごとの事実引用や評価が的確に行われた書面が出力されます。

• **特長2:** 大量の証拠ファイルを一括処理

大量の証拠ファイルも一度に一括で解析可能です。一般的なAIによくある、ファイルの追加や指示を続けると、前半の指示内容を忘れてしまうという事象を制御し、大量の記録から正確に事実を認定・引用します。

• **特長3:** ストレージ連携と万全のセキュリティ

Googleドライブ、Box、SharePointなどの事務所内のストレージツールと自動同期し、証拠や過去案件を簡単に選択できます。また、生成された書面はシステム上で直接編集が可能で、Wordファイル形式への変換も可能です。そして、ISMS認証(ISO27001)を取得し、通信の暗号化やIP制限など強固なセキュリティ環境を構築しています。

■代表山本俊のコメント

生成AIの進化により、リーガルテックは新たな次元に突入しました。「AI書面作成」は単なる業務効率化ツールではなく、弁護士の思考プロセス自体をAIが担い、人がチェックをしていく『AX(AIトランスフォーメーション)』を弁護士実務で実現するものです。

弁護士の皆様が膨大な証拠整理から解放され、生産性が更に高まることで、社会全体にも今よりも法務支援が行き渡り、『法とすべての活動の垣根をなくす』社会の実現を加速させることができると信じております。

■トライアルユーザーの声

「証拠を解析し、要件事実に基づいて事実関係を整理し、書面を作成する」という、実務における弁護士の思考プロセスが非常に高いレベルで再現されており、驚きました。

汎用的な生成AIと比較して、「AI書面作成」は証拠の取捨選択や事実抽出の精度の丁寧さが際立っており、極めて実戦的なクオリティに達しているように思います。

「AI書面作成」を導入してから、実務のスピード感が劇的に変わりました。膨大な証拠資料を読み込み、事実関係を整理して訴状を書き上げる一連の工程が、わずか10分ほどで完了します。先日、クライアントから緊急の依頼を深夜に受けた際、このシステムを活用することで一晩で訴状を完成させ、訴訟提起を行うことができました。

詳細は[こちら](#)

■GVA TECH会社概要

会社名 : GVA TECH株式会社

代表取締役: 山本 俊

本社所在地: 東京都渋谷区代々木3-37-5 2階

設立日 : 2017年1月4日

資本金 : 409百万円

事業内容 : リーガルテックサービス開発・提供

上場証券取引所: 東京証券取引所 グロース市場(証券コード:298A)

URL : <https://gvatech.co.jp/>